

平成23年度

財団法人下関海洋科学アカデミー決算書

財団法人下関海洋科学アカデミー

目 次

平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー事業報告書

1 概要	1
2 事業内容	1
3 会議に関する事項	10
4 役員等に関する事項	11
5 登記事項	12
6 常勤の役員及び職員に関する事項	12

平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー決算報告書

1 平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー 収支計算書	13
2 平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー 正味財産増減計算書	19
3 平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー 貸借対照表	25
4 平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー 財産目録	28
5 平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー キャッシュ・フロー計算書	31
財務諸表に対する注記	32
平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー 決算資料	38
平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー 決算監査意見書	42

平成 23 年度事業報告書

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

1. 事業概要

当財団は指定管理者として下関市より下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営事業を受託し、設立時の基本概念である「海のいのち、海といのち」に基づき、『市民が誇れるやさしい水族館』を目指し、環境、生態、生物多様性について教育的配慮のもと感動と楽しさを伴った展示を行いました。10周年を迎えた平成 23 年度は、「生き様展示」の新たな表現方法に挑戦し、生き生きとした飼育展示と教育面に重点をおいたアクティビティー運営の確立に努めました。瀬戸内海水槽にアオリイカを本格導入し、イワシ類の群れ行動をより活性化させた他、トビハゼやボラ、シオマネキなど身近な生き物の新たな魅力を引き出しました。新たなアクティビティーとしては、トレーナープチ体験、ペンギン学校サマースクール、ペンギン学校ウィンタースクールを実施しました。また、スナメリの展示は、22 年度に保護搬入した 1 頭の展示を開始し 3 頭での常設展示を実現しました。独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）にご協力いただき、2 階冷たい海の生き物コーナーを深海の生き物コーナーへリニューアルしました。秋篠宮文仁殿下、高円宮妃久子殿下に海響館をご見学いただきました。

公益事業では、ボランティア活動や自主研究などを行う自主事業、下関の中核的観光施設の拠点及び学習施設としての役割を担う受託事業を行うと共に、観客の利便性に配慮した収益事業を運営して参りました。入館者累計 800 万人目のお客様をお迎えするイベントや開館 10 周年イベント、ハロウィンやクリスマスなど話題性を盛り込んだイベントを開催しました。企画展としては「感じるキッズアクアリウム サメワールド」や「フグ ふく 河豚〜いつからフグは食べられていたのか〜」、「クマノミ城のひみつ〜クマノミとイソギンチャク〜」を開催した他、恒例の「海響あーとコンテスト展示会」を開催し、新たな体験型イベントも実施した結果、平成 23 年度入館者数は 708,148 人（前年度対比 84.0%、目標対比 98.4%）となりました。

海響館サポーターズクラブは入会勧誘強化を図った結果、1 万人の会員数を確保しました。年度合計では、ライムサポーター 1,629 名、オレンジサポーター 1,411 名、ブルーサポーター 6,184 名、レッドサポーター 3 社、ゴールドサポーター 13 名の新規・更新会員を獲得し、会員は合計 10,238 名、賛助金収入は 21,472,200 円（前年度対比入会者：91.8%、賛助金：93.2%）となりました。

2. 事業内容

(1) 下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営業務の受託

下関市立しものせき水族館の施設の管理に係る基本協定に基づく年度協定、並びに地方自治法施行令第 158 条第 1 項及び下関市会計規則第 35 条の規定による下関市立しものせき水族館使用料徴収事務委託契約に基づき、業務を遂行した。

(2) 水生生物の保護及び保全に関する調査研究

① 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会の活動に参加し、山口県、福岡県、大分県にわたる海域のスナ

メリを中心とした沿岸鯨類の調査及びスナメリの繁殖に関する研究を継続した。特に、スナメリの飼育下繁殖及び人工繁殖に向けての技術開発として、三重大学大学院吉岡基教授の指導の下、スナメリの性ホルモンの変動と光環境との関連についての研究を進めながら繁殖時期の同期化を進めている。

② 周防灘、響灘、関門海峡における水生哺乳類を中心とした海洋生物の座礁、混獲鯨類などへの対応と調査では、生存鯨類 2件（2種 2頭）に対応し、1頭は現地にて死亡を確認、1頭を緊急保護した。また、死亡鯨類 26件（2種 26頭）にも対応し、解剖などにより得られたサンプルを所定の研究機関に送付した。なお、スタンディングに関する調査結果を日本セトロジー研究会第22回大会にてポスター発表した。一方、生存目撃情報は、関門海峡でのスナメリや岩国市でのアザラシ（種名不明）など、8件が寄せられた（1種及び種不明 3件、44頭）。

③ フグ目魚類の繁殖では、イシガキフグの繁殖を進めている他、サザングローブフィッシュを繁殖させ仔稚魚を展示した。

④ 下関周辺でのウミガメの情報収集及び産卵調査では、死亡漂着 2件、魚網混獲 3件、衰弱漂着 1件、合計 6件（3種、6頭）の情報を入手した。なお、平成22年度に保護したアカウミガメ 1個体は9月に放流し、新たに衰弱漂着した 1個体を保護し展示水槽にて飼育中である。一方、産卵情報は得られなかった。

⑤ 刺胞動物の飼育展示推進では、周防大島沖にてニホンアワサンゴのプラヌラを採取し飼育育成を実施した他、その結果を第 56回水族館技術者研究会にて発表した。

⑥ チリ国立メトロポリタン動物園のフンボルトペンギンプロジェクトに協力した。

(3) 水生生物に関する普及啓発

① 参加型展示の開発に努め、飼育員による給餌解説などを継続した。常設展示では、ペンギン学校のテーマやキッズコーナーの内容を変更した他、企画展「感じるキッズアクアリウム サメワールド」や「クマノミ城のひみつ〜クマノミとイソギンチャク〜」では未就学児童や小学校低学年を対象年齢とした内容とするなど、楽しく解りやすく学べる展示手法を実践した。

② 総合的な学習への取り組みとして水族館館内の校外学習プログラム 11件、バックヤードツアー 15件、ワークシートを利用した学習コース 3件に対応した。また、就労体験型の飼育実習として、24名の実習生（大学、専門学校生及び「教職社会体験研修」「10年経験教諭校外研修」）を受け入れた。

③ 出前講座など、教育現場へ出かけての活動は、18件 1,388名を対象に実施した他、各種団体の主催する催事への参加並びに講演、職業講話などにも参加し、来館意欲の促進を図った。

④ 解説ボランティアの育成として、飼育員による飼育生物に関する講話（おもしろ話、新着生物の紹介など）を行った他、企画展の内容説明会、研修会も実施した。年間活動人数は、のべ 2,012人に及び、通常の解説活動や観客支援に加え、自主企画活動である館内ガイドツアーや海響館キッズフェスタ、まんぼう川柳などが実施された。

⑤ ホエールボランティアは、ワークショップやシロナガスクジラ骨格標本のすす払いを開催した他、海岸でのスナメリ定点観測や観察会、活動報告会などを実施し、ホームページ上で会報やスタンディング情報を発信した。なお、平成21年から開始したスナメリ定点観測の成果として、市内三軒屋海岸においてスナメリ観察が年中可能であるとした内容の看板を同海岸に設置した。

⑥ ペンギン村では、体験型学習などの内容をペンギンの季節活動に合わせた運用で実施した。ペ

ンギン・レンジャーでは3回のテーマ変更を行い、ペンギンワークシートについては、合計6編を刊行した他、ペンギン学校内のキッズコーナー内容変更、ペンギン村情報の更新及び給餌解説内容変更なども行い、楽しくペンギンについて学ぶことができる展示解説を充実させた。

⑦ 公式ホームページは海響館の活動に関する最新情報を発信するツールとして活用し、年間252回に及ぶ更新を重ねている。結果、ホームページの訪問者数は94万人を上回り、総アクセス数は3,100万件を越えた他、携帯サイトの訪問者数は73万人を上回り、前年比112.4%となった。

⑧ 企画展は、7～11月に「感じるキッズアクアリウム サメワールド」をはじめ、10～11月に「海響あーとコンテスト展示会」、12～2月に「フグ ふく 河豚～いつからフグは食べられていたのか～」、3～5月に「クマノミ城のひみつ～クマノミとイソギンチャク～」を実施した他、特別水槽にて小企画展示を12回にわたり実施した。

⑨ 「夜の水族館」は、夜間に限ったアクアシアター演出や館内外の照明演出などにより昼との違いを際立てる一方、期間による内容差別化も行い、リピーター確保に努めた。この結果、ゴールデンウィーク期間10日間で10,343人、夏休み期間33日間で30,864人、カウントダウン1日間で2,306人、合計44日間で43,513人の集客となった（前年度対比96.9%）。

⑩ 水産大学校と連携し、体験学習の場として実施している「オープンラボ」は、20のテーマをもって開催し、約1万8千人の参加があった。

⑪ 市内の三軒屋海岸にて「磯の観察会」を実施した他、講演会として杉本康弘准教授による「バブルリングのデキカタ」を開催した。

⑫ 特別イベントとして、10周年記念イベントや飼育の日、ハロウィンに係わるイベントの他、入館者累計800万人目のお客様をお迎えするイベントなどを開催した。また、冬期（12～2月）はお客様の利便性等に配慮し、飼育エリア内に立ち入る体験型イベントをペンギン解説イベントに変更した。

(4) 水生生物の収集、飼育及び展示

① 生物収集に関しては、山口県内、九州、四国の漁協などにご協力をいただき自家採集を行った。また、全国の水族館、水産研究所、漁協などからの購入、自家輸送を積極的に実施した。

② 生物に対しより良い飼育環境を作ると共に、展示意図を明確に伝える展示に努めた。

③ フグ目魚類は100種常設展示を継続し、ゴールドスポットパuffersなど海響館初展示となる種の導入を行った他、マンボウの飼育では、長期飼育による大型個体の展示に取り組み、平成23年4月13日まで展示した個体は全長160cm、体重208kg、飼育日数1,523日（日本歴代9位）を達成するなど、世界随一の展示コレクションを継続した。また、冬期に実施した企画展「フグ ふく 河豚～いつからフグは食べられていたのか～」では、フグ食の歴史や民俗学的な視点からフグを紹介した。

④ ニホンアワサンゴなど新たな刺胞動物の飼育に取り組み、展示に努めた。

⑤ バンドウイルカの繁殖個体は順調に成育し、安定的にアクアシアターへの出演が実現している。

⑥ アシカの新規導入では、国内動物園の協力によりブリーディングローン及び購入にて2頭を搬入した。

⑦ アクアシアターのプレゼンテーションは、イルカとアシカのコラボレーションするスタイルを発展させた他、新たなビヘイビアの開発に取り組み「前方サマー」の公開を行っている。

⑧ フンボルトペンギンについては、血統管理の下、繁殖による個体数の確保を行った他、ジェンツ

ーペンギンの繁殖に初めて成功し 3羽が巣立った。またイワトビペンギン 4羽を新たに搬入し、合計 8羽の飼育展示を実現した。一方「生き様展示」の取り組みに努めた結果、ジェンツーペンギンの集団遊泳行動や繁殖行動、フンボルトペンギンの営巣、育雛行動などを紹介できた。

⑨ 地域情報を収集し、話題性のある生物として、保護収容したアカウミガメやスナメリ、日本海初記録となるヌノサラシ、その他にもニホンアワサンゴ、イシドジョウなどの展示を行った。

⑩ イルカ蓄養についての調査として、冬期悪天候下における蓄養候補地現地調査を実施した。

⑪ 以下の基本事項は前年度に引き続き実施した

i. 展示生物などの開発については、円柱水槽にて大型クラゲの飼育展示を行い、ビゼンクラゲ 100日間、ユウレイクラゲ 51日間、ヒクラゲ 7日間の展示を実現した。

ii. 魚類など展示生物の収集、購入は23年度合計で 368種 71,851点（内イワシ類 63,000点を含む）となり、3月末時点での飼育数は 582種 25,870点となった。

iii. 飼育生物の健康管理を強化し、健全な環境作りや繁殖に向けてのデータの蓄積に努めた。

iv. 鯨類、鱈脚類、鳥類の飼育展示では、特にゴマフアザラシやペンギン類の繁殖個体を飼育展示した他、平成22年度に保護収容し予備水槽にて飼育していたスナメリ 1頭の展示を開始し、スナメリ 3頭の常設展示とするなど、話題性を創作した。

v. 展示資料は、自家収集も積極的に行ない、標本などを作成し、企画展や解説用資料として活用した。

vi. イルカ・アシカのプレゼンテーションは、「新コ・ン・カ・ツ～出会いは突然に～」をテーマに展開し、夏期には、スプラッシュシート演出を追加したサマーバージョンで実施した。なお、3月からはテーマ変更を行い、「現代版 巖流島の決闘!」とした。また、夜の水族館におけるナイトアクアシアターは、それぞれ昼間とは異なった内容で実施した。

⑫ 生後まもなく迷入したスナメリ幼獣 1頭に対応し保護収容を行ったが、2日後に死亡した。

⑬ 宮島水族館より寄託飼育を行っていたフンボルトペンギン 28羽を返却の為、搬出した。

⑭ 魚類 1種、サンゴ類 1種の繁殖賞を受賞し、賞プレートを追加掲示した結果、賞プレートは、旧水族館が受賞した1枚とあわせて、累計 34枚となった。

⑮ 関門ダイブにて、サンタダイバー、鬼さんダイバーなど、季節の演出を取り入れた特別バージョンや源平合戦400周年に合わせて「源平壇ノ浦ダイブ」を実施した。

⑯ 新たな水生生物として、とくしま動物園より借用した「カピバラ」を春と秋に期間限定にて展示した。

(5) 広報宣伝、観光客誘致、その他観光・レクリエーション事業の振興に関する事業

① 旅行エージェントなどへ企画旅行、幹旋団体旅行などのコース及び企画提案を行った。

② 近隣観光施設と提携し、観光客誘致、共同パンフレットの作成 モアしものせき委員会による共同パンフレットの作成を行い、旅行エージェントや近隣宿泊施設並びに観光関係団体への営業活動を行った。

③ 広報宣伝事業

i. 西日本を中心に主たる旅行エージェントを計画的に訪問した。更に首都圏の大手旅行エージェントの企画統括部門へのセールス活動を行った。

ii. テレビ宣伝については、夏期（7月16日～8月19日）、春期（3月16日～3月30日）において夏

期は山口・福岡・熊本・鹿児島・長崎・大分、春期は山口・福岡・広島、合計 20局のテレビ局でCM放映を行った。ラジオ宣伝については、下関市内のFMラジオ局においてオリジナル番組「海響館まるごと情報局」を制作し、年間を通じてPRを行った。

iii. 新聞、雑誌、タウン誌、情報誌などには、ニュースリリースの発行のみならず、積極的な情報提供を広く行い、パブリシティによる広報を行った。

iv. 福岡天神線の占有バス車両 2台に全面広告を施し、広報を行った。また、市内路線バスでの車内放送による宣伝活動も行った。

v. 地域協賛広告、市内のPR活動として維新・海峡ウォーク、しものせき海峡まつり、海峡花火大会などへの協賛を行った。

vi. 観光宣伝隊による観光誘致活動を行った。

vii. オフィシャルホームページ並びに携帯電話サイトについては年間を通じて新情報を発信した。

④ 下関市をはじめ近隣各種団体が主催するイベントにペンギン村PRキャラクターの着ぐるみを貸出し、イベントを盛り上げると共にペンギン村のPRを行い、連携した広報宣伝活動を行った。

⑤ 広報・報道資料として 96件を提出し、テレビ 173番組、ラジオ 27番組、新聞 163回などの取材を受け、海響館情報がマスコミに取り上げられた。

⑥ NHK の番組「ディープブルー」において飼育員 1名の出演協力を行った他、NHK 衛星第一「アインシュタインの眼」、ユニクロCM、テレビ朝日系列「奇跡の地球物語」などからの取材があり全国放映された。

(6) 観光資源の開発及び観光事業関係団体などとの連携

① 周辺地域の観光施設及び観光促進団体との連携、調整、情報交換モアしものせき委員会(海峡メッセ・海響館・唐戸市場・カモンワープ)による共同セールスや雑誌、新聞広告・イベントを実施し、海峡ドラマシップ、九州鉄道記念館との連携による「関門遊遊チケット」の販売を行った他、美祢市、長門市との連携により、秋芳洞、金子みすゞ記念館との「トライアングルチケット」及び、開館以来提携している海峡ゆめタワーとの「ダブルチケット」の販売も継続して行った。

② 山口県地域振興部との連携により、山口県内観光地における「観光客満足度調査」(4回)及び下関市観光交流部観光政策課との連携により、下関市観光振興事業支援補助業務「観光動態調査」(31回)のアンケート調査を行った。

③ 下関の特色ある水産物であるフグ・ウニ・クジラに関する食文化の普及と啓蒙に関しては、売店においても積極的に陳列、販売を行っている。また、下関くじら食文化を守る会の会員として加盟継続した。

④ 集客力のある施設であるペンギン村を広報宣伝のツールとして活用した。

(7) 下関市立しものせき水族館の事業に関連する収益事業

① 1階にてミュージアムショップ、ペンギン村 2階にてペンギンショップを運営し、10周年記念商品やペンギン村PRキャラクター「ペン太」を使用した菓子、文具などの新しい商品開発を行った。

② レストランの運営は平成 22年度に引続き下関グランドホテルに業務委託している。

(8) その他

① 社団法人日本動物園水族館協会の事業に関連する活動

- i. 総裁 秋篠宮文仁親王殿下ご臨席の下、第56回水族館技術者研究会を開催担当した。
- ii. 全国及び中国四国ブロックの各種会議・研修会などに参加し、6件の研究発表を行った。
- iii. 総会、園館長会議など全国及びブロックの各種会議を通じ業界の発展に寄与すべく、積極的に取り組んでいる。なお、石橋館長は日本動物園水族館鯨類会議副代表として取り組んでいる他、文部科学大臣より社会教育功労者表彰を受けた。
- iv. 水族館飼育技術者研究会、海獣技術者研究会などに参加し、技術情報の交換を行うと共に、研究成果を発表した。
- v. その他、必要な会議や研修会などにも参加し、技術の向上を図った。

② 国内外の水族館との連携

- i-1. 釜山アクアリウムとの相互協力では、技術交流などの一環として、釜山アクアリウムより KIM 社長他 3名が来館し情報・技術交流を行った。一方、当館からは、石橋館長が「釜山アクアリウム10周年記念式典」に参加した。
 - i-2. 香港オーシャンパークとの相互協力では、職員 1名を派遣し、香港オーシャンパークで開催された Animal Training Seminar 2011に参加するとともにアシカに関する情報交換を行った。
 - i-3. チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園に対して、各種支援を行った。
 - i-4. 国内の水族館などでは、多くの園館より生物収集に協力いただいた他、宇部市ときわ公園にて、ピラルクの蓄養協力をいただいた。なお、ときわ公園より 1名の飼育実習を受け入れた。一方、新規開館に伴う京都水族館の内覧会や大洗水族館開館10周年記念式典に出席した。また、震災復興への協力として、ふくしま海洋科学館へコモンフグはじめ 6種 26点の生物提供を行った。
 - ii. 近隣水族館と共同で設立した瀬戸内海西方海域スナメリ協議会にて、スナメリの繁殖生理の調査と人工繁殖に向けての技術開発を進めている。また、同協議会の研究として「Free-running circannual male reproductive cycles in captive finless porpoises Neophocaena phocaenoides exposed to a constant photoperiod」が19th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals (第19回 海生哺乳類学会)にて、三重大学よりポスター発表された。
 - iii. サポーターズクラブカード提示による入園料割引協定について、南知多ビーチランド及び秋吉台サファリランド、周南市徳山動物園、虹の森公園おさかな館、到津の森公園、やまぐちフラワーランドとの年間パスポート相互割引協定を継続した。
- ③ 大学、研究機関、学会などとの連携並びに技術、情報の収集
- i. 東京大学、三重大学、新潟大学、東京海洋大学、東京工業大学、水産大学校、山口県水産研究センター、萩博物館それぞれと共同研究に取り組んでいる他、山口大学など複数の大学、研究所、博物館との間で研究協力、展示協力、情報交換を行った。また、共著論文として日本水産学会などにて 8題の口頭発表、2題のポスター発表及び 8題の投稿論文掲載を行った。
 - ii. 複数の大学、研究所などとの間で研究協力、情報交換を行い、フグ目魚類を始めとした生物学的情報の収集に努めた。
 - iii. ペンギン会議全国大会にて 1題の口頭発表、1題の話題提供を行った他、ペンギン会議との連携によるチリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園との交流も継続している。

iv. 第10回日本海甲殻類研究会、第7回日本刺胞・有櫛動物研究談話会（水産大学校と共同開催）、第41回中四国野生動物医療看護勉強会を開催担当し、その他にも日本セトロジー研究会、日本水棲生物医学研究会、東京大学大気海洋研究所共同利用シンポジウム、ゴリ研究会、西日本フク研究会、山口生物学会などの学会、研究会に参加し、口頭発表、ポスター発表、会報への投稿を行なうと共に情報交換を行った。

v. 海響館、明治学園中学高等学校、水産大学校の3組織で文部科学省の指定制度であるスーパーサイエンスハイスクール（SSH）では、水族館水産学実習を実施した。

vi. NPO 法人自然と釣りのネットワーク、黒潮生物研究所と協力し、周防大島沖に群生するニホンアワサンゴの生息域内域外保全に向けての取り組みを行っている。

④ ドルフィンセラピーは、平成22年度に引き続き下関市立中央病院との連携をとり6月から9月にかけて実施し、参加者は33名であった。平成14年度の試験運用より、延べ323名の参加者数となっている。

⑤ シロナガスクジラ全身骨格標本の検査については、トロムソ大学博物館からのインスペクター派遣が中止となり、トロムソコーナーの展示内容は継続となった

以上

平成23年度入館者実績

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(単位：人)

月	有 料 入 館 者								
	個 人					団 体			
	市内	対全入館者比率	市外	対全入館者比率	小計	対全入館者比率	計	対全入館者比率	
対有料入館者比率		対有料入館者比率		対有料入館者比率					
4月	3,234	7.2%	32,400	71.9%	35,634	3,882	8.7%	39,516	88.3%
		8.2%		82.0%			9.8%		
5月	5,081	5.4%	65,567	69.9%	70,648	16,378	17.5%	87,026	92.8%
		5.8%		75.3%			18.8%		
6月	2,815	6.4%	29,840	67.5%	32,655	7,616	17.2%	40,271	91.1%
		7.0%		74.1%			18.9%		
7月	2,980	5.7%	37,066	70.8%	40,046	5,858	11.2%	45,904	87.7%
		6.4%		80.7%			12.8%		
8月	5,535	4.1%	110,573	81.6%	116,108	10,161	7.5%	126,269	93.2%
		4.4%		87.6%			8.0%		
9月	2,624	4.3%	44,830	73.8%	47,454	8,035	13.2%	55,489	91.3%
		4.7%		81.1%			14.5%		
10月	3,381	6.2%	29,760	54.2%	33,141	16,244	29.6%	49,385	89.9%
		6.8%		60.3%			34.0%		
11月	1,696	4.5%	24,624	57.7%	26,320	12,579	29.5%	38,899	91.1%
		4.4%		63.3%			32.3%		
12月	1,295	4.4%	22,823	77.0%	24,118	2,694	9.1%	26,812	90.5%
		4.8%		85.1%			10.0%		
1月	7,691	18.5%	27,976	67.4%	35,667	2,366	5.7%	38,033	91.6%
		20.2%		73.6%			6.2%		
2月	1,161	4.4%	31,799	83.2%	32,960	2,658	7.0%	35,618	93.2%
		3.3%		89.3%			7.5%		
3月	3,055	5.6%	53,629	76.9%	56,684	6,471	9.3%	63,155	90.5%
		4.8%		84.9%			10.2%		
計	40,548	5.4%	510,887	72.1%	551,435	94,942	14.3%	646,377	91.3%
		6.3%		79.0%			14.7%		

平成23年度入館者実績

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(単位：人)

月	無料入館者		全入館者	
	計	対全入館者比率	計	累計
4月	5,232	11.7%	44,748	44,748
5月	6,710	7.2%	93,736	138,484
6月	3,925	8.9%	44,196	182,680
7月	6,463	12.3%	52,367	235,047
8月	9,284	6.8%	135,553	370,600
9月	5,264	8.7%	60,753	431,353
10月	5,529	10.1%	54,914	486,267
11月	3,797	8.9%	42,696	528,963
12月	2,827	9.5%	29,639	558,602
1月	3,496	8.4%	41,529	600,131
2月	2,616	6.8%	38,234	638,365
3月	6,628	9.5%	69,783	708,148
計	61,771	8.7%	708,148	

3. 会議に関する事項

(1) 理事会

平成23年度の開催状況及び議決事項は次のとおりである。

区分	開催日	議決・報告事項
第1回	平成23年5月25日	議決事項1. 平成22年度決算の件 議決事項2. 役員を選任の件 議決事項3. 移行後最初の代表・執行理事の選定の件 議決事項4. 定款の変更の案の件 議決事項5. 規則等の改正の件 議決事項6. 移行認定申請書類の主要事項の件 議決事項7. 評議員会に付議する事項の件 報告事項1. 移行後最初に就任する評議員の件 報告事項2. 平成22年度入館人員及び他館との比較の件
第2回	平成24年3月28日	議決事項1. 平成24年度事業計画及び予算の件 議決事項2. 規則等の改正の件 議決事項3. 評議員会に付議する事項の件 報告事項1. 平成23年度入館人員及び他館との比較の件

(2) 評議員会

平成23年度の開催状況及び議決事項は次のとおりである。

区分	開催日	議決・報告事項
第1回	平成23年5月25日	議決事項1. 平成22年度決算の件 議決事項2. 役員を選任の件 議決事項3. 移行後最初の代表・執行理事の選定の件 議決事項4. 定款の変更の案の件 議決事項5. 規則等の改正の件 議決事項6. 移行認定申請書類の主要事項の件 報告事項1. 移行後最初に就任する評議員の件 報告事項2. 平成22年度入館人員及び他館との比較の件
第2回	平成24年3月28日	議決事項1. 平成24年度事業計画及び予算の件 議決事項2. 規則等の改正の件 報告事項1. 平成23年度入館人員及び他館との比較の件

4. 役員等に関する事項

(1) 平成24年3月31日現在の役員は次のとおりである。

役職名	氏 名	就 任 年 月 日
理事長	中尾 友昭	平成22年4月1日
専務理事	石橋 敏章	平成22年4月1日
常務理事	原田 伴博	平成22年6月1日
理事	吉川 宗利	平成22年4月1日
理事	林 孝介	平成22年4月1日
理事	近藤 洋平	平成23年4月1日
理事	木原 實	平成22年4月1日
理事	佐々木 正一	平成22年4月1日
理事	富永 洋一	平成22年4月1日
理事	高瀬 利也	平成22年4月1日
理事	和仁 皓明	平成23年4月1日
理事	波佐間 清	平成23年4月1日
理事	齋藤 秀之	平成22年4月1日
監事	堀川 徹二	平成23年4月1日
監事	久保園 浩	平成22年4月1日

(2) 平成24年3月31日現在の評議員は次のとおりである。

役職名	氏 名	就 任 年 月 日
評議員	松村 久	平成23年4月1日
評議員	中嶋 豪	平成23年4月1日
評議員	古田 巧	平成23年4月1日
評議員	大西 春菜	平成23年4月1日
評議員	今津 時宏	平成23年4月1日
評議員	林 俊作	平成23年4月1日
評議員	淀江 哲也	平成23年4月1日
評議員	田中 傳	平成23年4月1日
評議員	中村 成志	平成23年4月1日
評議員	田淵 清隆	平成23年4月1日
評議員	吉田 茂人	平成23年4月1日
評議員	田中 渉	平成23年4月1日
評議員	石蔵 康宏	平成23年4月1日
評議員	西川 ひとみ	平成23年4月1日
評議員	蟻尾 定夫	平成23年4月1日
評議員	福田 睦久	平成23年4月1日

5. 登記事項

平成23年度の登記事項は次のとおりです。

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成23年3月30日	山口地方法務局	理事辞任及び就任	平成23年4月11日

6. 常勤の役員及び職員に関する事項

平成24年3月31日現在の人員は次のとおりである。

理事	職員	契約職員	臨時職員
2人	21人	17人	27人
	管理部 管理部長（常務理事兼務） 管理部長次長 1人 管理課 1人 業務課 3人	管理部 管理課 2人 業務課 3人	管理部 管理課 5人 業務課 11人
	展示部 展示部長 1人 魚類展示課長兼海獣展示課長 1人 魚類展示課 6人 海獣展示課 8人	展示部 魚類展示課 3人 海獣展示課 9人	展示部 魚類展示課 4人 海獣展示課 7人

平成23年度財団法人下関海洋科学アカデミー決算報告書

1 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 収支計算書（総括表）

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

（単位：円）

科 目	合 計	公益事業会計	収益事業会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	201,095	201,095	0	
② 事業収入				
事業収入	1,106,756,511	825,361,588	281,394,923	
③ 寄付金収入				
寄付金収入	21,472,200	21,472,200	0	
④ 雑収入				
受取利息収入	629	629	0	
雑収入	1,865,006	1,828,208	36,798	
雑収入計	1,865,635	1,828,837	36,798	0
⑤ 他会計からの繰入金収入				
他会計からの繰入金収入	0	45,000,000	0	△ 45,000,000
事業活動収入合計	1,130,295,441	893,863,720	281,431,721	△ 45,000,000
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
事業費支出	861,728,054	632,445,644	229,282,410	
② 管理費支出				
管理費支出	258,278,410	258,278,410	0	
③ 他会計への繰入金支出				
他会計への繰入金支出	0	0	45,000,000	△ 45,000,000
事業活動支出合計	1,120,006,464	890,724,054	274,282,410	△ 45,000,000
事業活動収支差額	10,288,977	3,139,666	7,149,311	0
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	4,268,928	4,268,928	0	
投資活動収入合計	4,268,928	4,268,928	0	0
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	8,375,354	7,408,594	966,760	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	0	0	0	
投資活動支出合計	8,375,354	7,408,594	966,760	0
投資活動収支差額	△ 4,106,426	△ 3,139,666	△ 966,760	0
当期収支差額	6,182,551	0	6,182,551	0
前期繰越収支差額	119,854,211	0	119,854,211	0
次期繰越収支差額	126,036,762	0	126,036,762	0

1- (1) 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 収支計算書 (公益事業会計)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

①収入の部

事業活動収入の部

(単位:円)

科 目		予 算 額			決 算 額	差 異	収 入 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
基本財産運用収入		300,000	0	300,000	201,095	98,905	
	基本財産利息収入	300,000	0	300,000	201,095	98,905	基本財産利息収入
寄付金収入		14,000,000	0	14,000,000	21,472,200	△ 7,472,200	
	寄付金収入	14,000,000	0	14,000,000	21,472,200	△ 7,472,200	株「ターズクラブ」入会金
事業収入		893,250,000	0	893,250,000	825,361,588	67,888,412	
	管理受託収入	893,250,000	0	893,250,000	825,361,588	67,888,412	下関市からの受託収入
他会計からの繰入金収入		45,000,000	0	45,000,000	45,000,000	0	
	他会計からの繰入金収入	45,000,000	0	45,000,000	45,000,000	0	収益事業会計からの繰入金
雑収入		2,400,000	0	2,400,000	1,828,837	571,163	
	受取利息収入	0	0	0	629	△ 629	
	雑収入	2,400,000	0	2,400,000	1,828,208	571,792	第56回水族館技術者研究会補助金等
事業活動収入合計	(A)	954,950,000	0	954,950,000	893,863,720	61,086,280	

投資活動収入の部

(単位:円)

科 目		予 算 額			決 算 額	差 異	収 入 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
特定資産取崩収入		0	0	0	4,268,928	△ 4,268,928	
	退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	4,268,928	△ 4,268,928	
投資活動収入合計	(B)	0	0	0	4,268,928	△ 4,268,928	
当期収入合計	(C) = (A+B)	954,950,000	0	954,950,000	898,132,648	56,817,352	
前期繰越収支差額		0	0	0	0	0	
収入合計	(D)	954,950,000	0	954,950,000	898,132,648	56,817,352	

②支出の部

事業活動支出の部

(単位:円)

科 目		予 算			額	決 算 額	差 異	支 出 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	流用増減	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
自主事業費支出		8,971,000	0	0	8,971,000	6,294,882	2,676,118	
	職員手当	936,000	0	0	936,000	936,000	0	
	会議費支出	111,000	0	0	111,000	32,447	78,553	
	旅費交通費支出	1,448,000	0	0	1,448,000	725,990	722,010	
	通信運搬費支出	1,144,000	0	0	1,144,000	1,047,922	96,078	
	消耗什器備品費支出	1,226,000	0	0	1,226,000	801,881	424,119	
	消耗品費支出	1,953,000	0	0	1,953,000	1,568,962	384,038	
	修繕費支出	209,000	0	0	209,000	59,640	149,360	
	印刷製本費支出	295,000	0	0	295,000	208,950	86,050	
	燃料費支出	38,000	0	0	38,000	0	38,000	
	賃借料支出	174,000	0	0	174,000	146,284	27,716	
	保険料支出	0	0	0	0	0	0	
	諸謝金支出	56,000	0	0	56,000	55,555	445	
	手数料支出	52,000	0	0	52,000	9,000	43,000	
	広報宣伝費支出	0	0	0	0	0	0	
	負担金支出	359,000	0	0	359,000	213,151	145,849	
	委託費支出	970,000	0	0	970,000	489,100	480,900	
	雑支出	0	0	0	0	0	0	
受託事業費支出		636,352,000	0	0	636,352,000	626,150,762	10,201,238	
	報酬	0	0	0	0	0	0	
	職員手当	8,775,000	0	0	8,775,000	8,775,000	0	
	福利厚生費支出	0	0	0	0	0	0	
	臨時職員賃金	0	0	0	0	0	0	
	会議費支出	310,000	0	4,014	314,014	314,014	0	
	旅費交通費支出	4,499,000	0	0	4,499,000	3,309,492	1,189,508	
	通信運搬費支出	829,000	0	124,905	953,905	953,905	0	
	消耗什器備品費支出	2,754,000	0	0	2,754,000	1,297,133	1,456,867	
	消耗品費支出	26,764,000	0	△ 3,755,042	23,008,958	21,018,263	1,990,695	
	水族購入費支出	3,643,000	0	3,108,950	6,751,950	6,751,950	0	
	展示資料購入費支出	281,000	0	0	281,000	56,259	224,741	
	飼料購入費支出	27,729,000	0	0	27,729,000	26,230,249	1,498,751	
	原材料費支出	1,078,000	0	0	1,078,000	475,365	602,635	
	修繕費支出	29,790,000	0	△ 10,958,188	18,831,812	18,174,902	656,910	
	印刷製本費支出	6,557,000	0	513,700	7,070,700	7,066,605	4,095	
	燃料費支出	1,671,000	0	0	1,671,000	1,378,115	292,885	
	光熱水料費支出	204,601,000	0	3,751,028	208,352,028	208,352,028	0	
	賃借料支出	9,784,000	0	0	9,784,000	9,434,705	349,295	
	諸謝金支出	60,000	0	0	60,000	0	60,000	
	手数料支出	21,250,000	0	△ 1,895,726	19,354,274	18,524,012	830,262	
	広報宣伝費支出	43,455,000	0	0	43,455,000	42,582,406	872,594	
	負担金支出	229,000	0	0	229,000	57,000	172,000	
	委託費支出	242,293,000	0	9,106,359	251,399,359	251,399,359	0	
								設備管理業務委託料 36,525,687
								コージェネレーション設備保守点検料 31,595,256
								館内警備業務委託料 26,367,975
								施設清掃業務委託料 14,785,506
								企画展・館内イベント委託料 12,800,000
								館内設備修繕 18,174,902
								テレビ・ラジオ宣伝費 41,989,784
								観客誘致斡旋手数料 16,740,973

(単位:円)

科 目		子 算 額				決 算 額	差 異	支 出 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	流用増減	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
管理費支出		302,657,000	0	△ 438,594	302,218,406	258,278,410	43,939,996	消費税 10,176,948
	報酬	19,518,000	0	0	19,518,000	7,798,200	11,719,800	
	給料	99,882,000	0	0	99,882,000	91,877,226	8,004,774	
	職員手当	72,234,000	0	△ 4,707,522	67,526,478	63,777,989	3,748,489	
	退職給付支出	0	0	4,268,928	4,268,928	4,268,928	0	
	福利厚生費支出	31,454,000	0	0	31,454,000	28,174,857	3,279,143	
	臨時職員賃金	41,307,000	0	0	41,307,000	35,505,957	5,801,043	
	会議費支出	3,391,000	0	△ 558,935	2,832,065	283,245	2,548,820	
	旅費交通費支出	3,774,000	0	0	3,774,000	2,373,619	1,400,381	
	交際費支出	100,000	0	0	100,000	0	100,000	
	通信運搬費支出	1,695,000	0	0	1,695,000	1,319,034	375,966	
	消耗什器備品費支出	0	0	0	0	0	0	
	消耗品費支出	6,168,000	0	△ 111,419	6,056,581	2,693,595	3,362,986	
	修繕費支出	160,000	0	28,445	188,445	188,445	0	
	印刷製本費支出	578,000	0	0	578,000	493,605	84,395	
	燃料費支出	238,000	0	0	238,000	75,258	162,742	
	賃借料支出	1,309,000	0	38,563	1,347,563	1,347,563	0	
	保険料支出	1,603,000	0	74,301	1,677,301	1,677,301	0	
	諸謝金支出	45,000	0	0	45,000	0	45,000	
	手数料支出	222,000	0	0	222,000	128,975	93,025	
	租税公課支出	13,340,000	0	0	13,340,000	10,587,548	2,752,452	
	負担金支出	930,000	0	0	930,000	631,300	298,700	
	委託費支出	4,659,000	0	529,045	5,188,045	5,075,765	112,280	
	雑支出	50,000	0	0	50,000	0	50,000	
事業活動支出合計	(E)	947,980,000	0	△ 438,594	947,541,406	890,724,054	56,817,352	

投資活動支出の部

(単位:円)

科 目		子 算 額				決 算 額	差 異	支 出 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	流用増減	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
固定資産取得支出		0	0	0	0	0	0	
	電話加入権購入支出	0	0	0	0	0	0	
特定資産取得支出		6,970,000	0	438,594	7,408,594	7,408,594	0	
	退職給付引当資産取得支出	6,970,000	0	438,594	7,408,594	7,408,594	0	
投資活動支出合計	(F)	6,970,000	0	438,594	7,408,594	7,408,594	0	
当期支出合計	(G) = (E+F)	954,950,000	0	0	954,950,000	898,132,648	56,817,352	
当期収支差額	(H) = (C-G)	0	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額	(D) - (G)	0	0	0	0	0	0	

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

①収入の部

事業活動収入の部

(単位:円)

科 目		予 算 額			決 算 額	差 異	収 入 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
事業収入		304,596,000	0	304,596,000	281,394,923	23,201,077	
	館内販売事業収入	285,697,000	0	285,697,000	255,528,319	30,168,681	ミュージアムショップ、ペンギンショップ売上収入
	レストラン事業収入	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0	
	駐車場事業収入	0	0	0	0	0	
	その他事業収入	15,899,000	0	15,899,000	22,866,604	△ 6,967,604	自動販売機等、記念写真、観光双眼望遠鏡、公衆電話等売上収入
雑収入		0	0	0	36,798	△ 36,798	
	受取利息収入	0	0	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	36,798	△ 36,798	
事業活動収入合計	(A)	304,596,000	0	304,596,000	281,431,721	23,164,279	

投資活動収入の部

(単位:円)

科 目		予 算 額			決 算 額	差 異	収 入 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
特定資産取崩収入		0	0	0	0	0	
	退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0	0	
投資活動収入合計	(B)	0	0	0	0	0	
当期収入合計	(C) = (A+B)	304,596,000	0	304,596,000	281,431,721	23,164,279	
前期繰越収支差額		78,785,000	0	78,785,000	119,854,211	△ 41,069,211	
収入合計	(D)	383,381,000	0	383,381,000	401,285,932	△ 17,904,932	

②支出の部

事業活動支出の部

科 目		予 算			額	決 算 額	差 異	支 出 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	流用増減	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
収益事業費支出		258,188,000	0	0	258,188,000	229,282,410	28,905,590	
	館内販売仕入費	179,775,000	0	0	179,775,000	166,301,834	13,473,166	
	報酬	9,057,000	0	0	9,057,000	7,500,000	1,557,000	海響館施設使用料 11,268,096
	給料	2,888,000	0	0	2,888,000	2,859,063	28,937	法人税等 447,400
	職員手当	8,376,000	0	0	8,376,000	7,862,834	513,166	消費税 4,566,892
	退職給付支出	0	0	0	0	0	0	
	福利厚生費支出	4,303,000	0	0	4,303,000	4,132,532	170,468	
	臨時職員賃金	21,621,000	0	0	21,621,000	15,583,788	6,037,212	
	会議費支出	240,000	0	0	240,000	115,852	124,148	
	旅費交通費支出	167,000	0	0	167,000	580	166,420	
	通信運搬費支出	195,000	0	0	195,000	52,155	142,845	
	消耗什器備品費支出	319,000	0	0	319,000	0	319,000	
	消耗品費支出	8,076,000	0	0	8,076,000	4,164,149	3,911,851	
	修繕費支出	290,000	0	0	290,000	0	290,000	
	印刷製本費支出	168,000	0	0	168,000	122,850	45,150	
	光熱水料費支出	285,000	0	133,477	418,477	418,477	0	
	賃借料支出	11,691,000	0	0	11,691,000	11,331,296	359,704	
	手数料支出	211,000	0	0	211,000	82,215	128,785	
	広報宣伝費支出	750,000	0	0	750,000	10,500	739,500	
	租税公課支出	4,978,000	0	234,192	5,212,192	5,212,192	0	
	負担金支出	660,000	0	0	660,000	592,300	67,700	
	委託費支出	4,078,000	0	△ 367,669	3,710,331	2,890,274	820,057	
	雑支出	60,000	0	0	60,000	49,519	10,481	
他会計への繰入金支出		45,000,000	0	0	45,000,000	45,000,000	0	
	他会計への繰入金支出	45,000,000	0	0	45,000,000	45,000,000	0	公益事業会計への繰出金
事業活動支出合計 (E)		303,188,000	0	0	303,188,000	274,282,410	28,905,590	

投資活動支出の部

科 目		予 算			額	決 算 額	差 異	支 出 の 説 明
大 科 目	中 科 目	当初予算額	補正予算額	流用増減	計 (a)	(b)	(a) - (b)	
固定資産取得支出		0	0	0	0	0	0	
	什器備品購入支出	0	0	0	0	0	0	
特定資産取得支出		967,000	0	0	967,000	966,760	240	
	退職給付引当資産取得支出	967,000	0	0	967,000	966,760	240	
投資活動支出合計 (F)		967,000	0	0	967,000	966,760	240	
当期支出合計 (G) = (E+F)		304,155,000	0	0	304,155,000	275,249,170	28,905,830	
当期収支差額 (H) = (C-G)		441,000	0	0	441,000	6,182,551	△ 5,741,551	
次期繰越収支差額 (D) - (G)		79,226,000	0	0	79,226,000	126,036,762	△ 46,810,762	

2 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 正味財産増減計算書（総括表）

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

（単位：円）

科 目	合計	公益事業会計	収益事業会計	内部取引消去
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	201,095	201,095	0	
② 事業収益				
事業収益	1,106,756,511	825,361,588	281,394,923	
③ 受取寄付金				
受取寄付金	21,472,200	21,472,200	0	
④ 雑収益				
受取利息	629	629	0	
雑収益	1,865,006	1,828,208	36,798	
雑収益計	1,865,635	1,828,837	36,798	0
⑤ 他会計からの繰入額				
他会計からの繰入額	0	45,000,000	0	△ 45,000,000
経常収益計	1,130,295,441	893,863,720	281,431,721	△ 45,000,000
(2) 経常費用				
① 事業費				
事業費	866,205,683	632,445,644	233,760,039	
② 管理費				
管理費	258,278,410	258,278,410	0	
③ 他会計への繰入額				
他会計への繰入額	0	0	45,000,000	△ 45,000,000
経常費用計	1,124,484,093	890,724,054	278,760,039	△ 45,000,000
当期経常増減額	5,811,348	3,139,666	2,671,682	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 固定資産受贈益				
投資有価証券受贈益	0	0	0	
② その他経常外収益				
退職給付引当金取崩額	4,268,928	4,268,928	0	
経常外収益計	4,268,928	4,268,928	0	0
(2) 経常外費用				
① 固定資産売却損				
什器備品廃棄損	0	0	0	
② その他経常外費用				
退職給付引当金繰入額	8,375,354	7,408,594	966,760	
経常外費用計	8,375,354	7,408,594	966,760	0
当期経常外増減額	△ 4,106,426	△ 3,139,666	△ 966,760	0
当期一般正味財産増減額	1,704,922	0	1,704,922	0
一般正味財産期首残高	287,364,410	150,512,000	136,852,410	0
一般正味財産期末残高	289,069,332	150,512,000	138,557,332	0
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	289,069,332	150,512,000	138,557,332	0

2- (1) 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 正味財産増減計算書 (公益事業会計)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	201,095	300,000	△ 98,905
② 事業収益			
管理受託収入	825,361,588	778,129,486	47,232,102
事業収益合計	825,361,588	778,129,486	47,232,102
③ 受取寄付金			
受取寄付金	21,472,200	23,031,900	△ 1,559,700
④ 雑収益			
受取利息	629	1,969	△ 1,340
雑収益	1,828,208	1,488,596	339,612
雑収益計	1,828,837	1,490,565	338,272
⑤ 他会計からの繰入額			
他会計からの繰入額	45,000,000	30,000,000	15,000,000
経常収益計	893,863,720	832,951,951	60,911,769
(2) 経常費用			
① 自主事業費			
職員手当	936,000	936,000	0
会議費	32,447	68,515	△ 36,068
旅費交通費	725,990	1,193,570	△ 467,580
通信運搬費	1,047,922	745,809	302,113
消耗什器備品費	801,881	362,208	439,673
消耗品費	1,568,962	2,114,810	△ 545,848
修繕費	59,640	186,165	△ 126,525
印刷製本費	208,950	245,175	△ 36,225
燃料費	0	3,795	△ 3,795
賃借料	146,284	128,747	17,537
保険料	0	0	0
諸謝金	55,555	55,555	0
手数料	9,000	9,000	0
負担金	213,151	229,390	△ 16,239
委託費	489,100	2,241,208	△ 1,752,108
雑費	0	0	0
自主事業費計	6,294,882	8,519,947	△ 2,225,065
② 受託事業費			
報酬	0	0	0
職員手当	8,775,000	8,775,000	0
福利厚生費	0	0	0
臨時職員賃金	0	0	0
会議費	314,014	277,362	36,652
旅費交通費	3,309,492	3,626,128	△ 316,636
通信運搬費	953,905	633,225	320,680
消耗什器備品費	1,297,133	6,012,988	△ 4,715,855
消耗品費	21,018,263	24,092,134	△ 3,073,871
水族購入費	6,751,950	3,496,701	3,255,249
展示資料購入費	56,259	308,248	△ 251,989

科 目	当年度	前年度	増 減
飼料購入費	26,230,249	25,996,108	234,141
原材料費	475,365	924,581	△ 449,216
修繕費	18,174,902	21,104,546	△ 2,929,644
印刷製本費	7,066,605	5,559,070	1,507,535
燃料費	1,378,115	1,086,426	291,689
光熱水料費	208,352,028	186,974,538	21,377,490
賃借料	9,434,705	9,239,079	195,626
諸謝金	0	149,998	△ 149,998
手数料	18,524,012	22,496,749	△ 3,972,737
広報宣伝費	42,582,406	53,920,123	△ 11,337,717
負担金	57,000	102,548	△ 45,548
委託費	251,399,359	192,959,306	58,440,053
受託事業費計	626,150,762	567,734,858	58,415,904
事業費計	632,445,644	576,254,805	56,190,839
③ 管理費			
報酬	7,798,200	16,299,000	△ 8,500,800
給料	91,877,226	79,085,358	12,791,868
職員手当	63,777,989	55,594,214	8,183,775
退職給付費用	4,268,928	2,939,250	1,329,678
福利厚生費	28,174,857	27,012,789	1,162,068
臨時職員賃金	35,505,957	46,807,041	△ 11,301,084
会議費	283,245	280,986	2,259
旅費交通費	2,373,619	1,638,430	735,189
交際費	0	0	0
通信運搬費	1,319,034	1,437,943	△ 118,909
消耗什器備品費	0	30,219	△ 30,219
消耗品費	2,693,595	3,313,403	△ 619,808
修繕費	188,445	297,262	△ 108,817
印刷製本費	493,605	457,380	36,225
燃料費	75,258	64,326	10,932
賃借料	1,347,563	1,178,447	169,116
保険料	1,677,301	1,461,740	215,561
諸謝金	0	0	0
手数料	128,975	162,725	△ 33,750
租税公課	10,587,548	11,625,166	△ 1,037,618
負担金	631,300	805,100	△ 173,800
委託費	5,075,765	2,519,627	2,556,138
雑費	0	0	0
管理費計	258,278,410	253,010,406	5,268,004
経常費用計	890,724,054	829,265,211	61,458,843
当期経常増減額	3,139,666	3,686,740	△ 547,074
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産受贈益			
投資有価証券受贈益	0	0	0
② その他経常外収益			
退職給付引当金取崩額	4,268,928	2,939,250	1,329,678
敷金戻り収入	0	0	0
その他経常外収益計	4,268,928	2,939,250	1,329,678
経常外収益計	4,268,928	2,939,250	1,329,678

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常外費用			
① その他経常外費用			
敷金減少額	0	0	0
退職給付引当金繰入額	7,408,594	6,625,990	782,604
その他経常外費用計	7,408,594	6,625,990	782,604
経常外費用計	7,408,594	6,625,990	782,604
当期経常外増減額	△ 3,139,666	△ 3,686,740	547,074
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	150,512,000	150,512,000	0
一般正味財産期末残高	150,512,000	150,512,000	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	150,512,000	150,512,000	0

2- (2) 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 正味財産増減計算書 (収益事業会計)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益			
館内販売事業収益	255,528,319	320,645,490	△ 65,117,171
レストラン事業収益	3,000,000	82,348,165	△ 79,348,165
駐車場事業収益	0	0	0
その他事業収益	22,866,604	55,154,610	△ 32,288,006
事業収益計	281,394,923	458,148,265	△ 176,753,342
② 雑収益			
受取利息	0	0	0
雑収益	36,798	22,810,969	△ 22,774,171
雑収益計	36,798	22,810,969	△ 22,774,171
経常収益計	281,431,721	480,959,234	△ 199,527,513
(2) 経常費用			
① 事業費			
期首たな卸高	2,230,493	1,452,665	777,828
館内販売仕入費	166,301,834	223,040,686	△ 56,738,852
小 計	168,532,327	224,493,351	△ 55,961,024
期末たな卸高	1,267,875	2,230,493	△ 962,618
当期事業原価	167,264,452	222,262,858	△ 54,998,406
報酬	7,500,000	7,500,000	0
給料	2,859,063	2,805,327	53,736
職員手当	7,862,834	6,898,855	963,979
退職給付費用	0	390,000	△ 390,000
福利厚生費	4,132,532	3,725,519	407,013
臨時職員賃金	15,583,788	17,102,903	△ 1,519,115
会議費	115,852	0	115,852
旅費交通費	580	146,320	△ 145,740
通信運搬費	52,155	40,427	11,728
什器備品減価償却費	3,515,011	3,515,011	0
消耗什器備品費	0	1,632,697	△ 1,632,697
消耗品費	4,164,149	5,876,222	△ 1,712,073
修繕費	0	0	0
印刷製本費	122,850	44,100	78,750
光熱水料費	418,477	3,586,061	△ 3,167,584
賃借料	11,331,296	21,151,417	△ 9,820,121
手数料	82,215	7,851,087	△ 7,768,872
広報宣伝費	10,500	0	10,500
租税公課	5,212,192	17,562,132	△ 12,349,940
負担金	592,300	312,000	280,300
委託費	2,890,274	106,740,935	△ 103,850,661
雑費	49,519	57,246	△ 7,727
経費小計	66,495,587	206,938,259	△ 140,442,672
事業費計	233,760,039	429,201,117	△ 195,441,078

科 目	当年度	前年度	増 減
② 他会計への繰入額			
他会計への繰入額	45,000,000	30,000,000	15,000,000
経常費用計	278,760,039	459,201,117	△ 180,441,078
当期経常増減額	2,671,682	21,758,117	△ 19,086,435
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① その他の経常外収益			
退職給付引当金取崩額	0	390,000	△ 390,000
経常外収益計	0	390,000	△ 390,000
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損			
什器備品廃棄損	0	0	0
② その他の経常外費用			
退職給付引当金繰入額	966,760	4,079,740	△ 3,112,980
経常外費用計	966,760	4,079,740	△ 3,112,980
当期経常外増減額	△ 966,760	△ 3,689,740	2,722,980
当期一般正味財産増減額	1,704,922	18,068,377	△ 16,363,455
一般正味財産期首残高	136,852,410	118,784,033	18,068,377
一般正味財産期末残高	138,557,332	136,852,410	1,704,922
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	138,557,332	136,852,410	1,704,922

3 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 貸借対照表 (総括表)

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	合計	公益事業会計	収益事業会計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	26,011,284	7,052,932	18,958,352
普通預金	367,314,000	289,504,278	77,809,722
定期預金	50,000,000	0	50,000,000
郵便振替専用口座	8,500	8,500	0
売掛金	0	0	0
未収金	14,494,954	13,802,898	692,056
たな卸資産	1,267,875	0	1,267,875
前払金	7,931	7,931	0
前払費用	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	459,104,544	310,376,539	148,728,005
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	39,372,546	31,228,866	8,143,680
特定資産合計	39,372,546	31,228,866	8,143,680
(3) その他固定資産			
什器備品	21,654,402	0	21,654,402
減価償却累計額	△ 10,401,707	0	△ 10,401,707
電話加入権	1,512,000	1,512,000	0
その他固定資産合計	12,764,695	1,512,000	11,252,695
固定資産合計	201,137,241	181,740,866	19,396,375
資産合計	660,241,785	492,117,405	168,124,380
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	17,453,709	0	17,453,709
未払金	267,559,176	264,647,709	2,911,467
未払法人税等	447,400	0	447,400
未払消費税等	2,681,740	2,070,948	610,792
預り金	4,396,348	4,396,348	0
仮受金	39,261,534	39,261,534	0
流動負債合計	331,799,907	310,376,539	21,423,368
2. 固定負債			
退職給付引当金	39,372,546	31,228,866	8,143,680
固定負債合計	39,372,546	31,228,866	8,143,680
負債合計	371,172,453	341,605,405	29,567,048
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	289,069,332	150,512,000	138,557,332
正味財産合計	289,069,332	150,512,000	138,557,332
負債及び正味財産合計	660,241,785	492,117,405	168,124,380

3- (1) 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 貸借対照表 (公益事業会計)

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科	目	当年度	前年度	増 減
I	資産の部			
1.	流動資産			
	現金	7,052,932	2,412,442	4,640,490
	普通預金	289,504,278	234,885,512	54,618,766
	郵便振替専用口座	8,500	9,300	△ 800
	未収金	13,802,898	13,728,220	74,678
	前払金	7,931	322,199	△ 314,268
	前払費用	0	157,921	△ 157,921
	仮払金	0	0	0
	流動資産合計	310,376,539	251,515,594	58,860,945
2.	固定資産			
(1)	基本財産			
	投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
	基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
	基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2)	特定資産			
	退職給付引当資産	31,228,866	28,089,200	3,139,666
	特定資産合計	31,228,866	28,089,200	3,139,666
(3)	その他固定資産			
	電話加入権	1,512,000	1,512,000	0
	その他固定資産合計	1,512,000	1,512,000	0
	固定資産合計	181,740,866	178,601,200	3,139,666
	資産合計	492,117,405	430,116,794	62,000,611
II	負債の部			
1.	流動負債			
	未払金	264,647,709	222,625,103	42,022,606
	未払消費税等	2,070,948	2,036,966	33,982
	預り金	4,396,348	2,602,040	1,794,308
	仮受金	39,261,534	24,251,485	15,010,049
	流動負債合計	310,376,539	251,515,594	58,860,945
2.	固定負債			
	退職給付引当金	31,228,866	28,089,200	3,139,666
	固定負債合計	31,228,866	28,089,200	3,139,666
	負債合計	341,605,405	279,604,794	62,000,611
III	正味財産の部			
1.	指定正味財産	0	0	0
2.	一般正味財産	150,512,000	150,512,000	0
	正味財産合計	150,512,000	150,512,000	0
	負債及び正味財産合計	492,117,405	430,116,794	62,000,611

3- (2) 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 貸借対照表 (収益事業会計)

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科	目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部				
1. 流動資産				
	現金	18,958,352	15,299,337	3,659,015
	普通預金	77,809,722	154,071,978	△ 76,262,256
	定期預金	50,000,000	0	50,000,000
	売掛金	0	1,098,400	△ 1,098,400
	未収金	692,056	2,058,303	△ 1,366,247
	たな卸資産	1,267,875	2,230,493	△ 962,618
	前払費用	0	709	△ 709
	仮払金	0	0	0
	流動資産合計	148,728,005	174,759,220	△ 26,031,215
2. 固定資産				
	(1) 基本財産			
	投資有価証券	0	0	0
	基本財産引当預金	0	0	0
	基本財産合計	0	0	0
	(2) 特定資産			
	退職給付引当資産	8,143,680	7,176,920	966,760
	特定資産合計	8,143,680	7,176,920	966,760
	(3) その他固定資産			
	什器備品	21,654,402	21,654,402	0
	減価償却累計額	△ 10,401,707	△ 6,886,696	△ 3,515,011
	その他固定資産合計	11,252,695	14,767,706	△ 3,515,011
	固定資産合計	19,396,375	21,944,626	△ 2,548,251
	資産合計	168,124,380	196,703,846	△ 28,579,466
II 負債の部				
1. 流動負債				
	買掛金	17,453,709	22,579,447	△ 5,125,738
	未払金	2,911,467	15,187,309	△ 12,275,842
	未払法人税等	447,400	12,149,700	△ 11,702,300
	未払消費税等	610,792	2,558,732	△ 1,947,940
	仮受金	0	199,328	△ 199,328
	流動負債合計	21,423,368	52,674,516	△ 31,251,148
2. 固定負債				
	退職給付引当金	8,143,680	7,176,920	966,760
	固定負債合計	8,143,680	7,176,920	966,760
	負債合計	29,567,048	59,851,436	△ 30,284,388
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
		0	0	0
2. 一般正味財産				
		138,557,332	136,852,410	1,704,922
	正味財産合計	138,557,332	136,852,410	1,704,922
	負債及び正味財産合計	168,124,380	196,703,846	△ 28,579,466

4 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 財産目録 (総括表)

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目	合計	公益事業会計	収益事業会計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	26,011,284	7,052,932	18,958,352
普通預金	367,314,000	289,504,278	77,809,722
定期預金	50,000,000	0	50,000,000
郵便振替専用口座	8,500	8,500	0
たな卸資産	1,267,875	0	1,267,875
売掛金	0	0	0
未収金	14,494,954	13,802,898	692,056
前払金	7,931	7,931	0
前払費用	0	0	0
流動資産合計	459,104,544	310,376,539	148,728,005
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	39,372,546	31,228,866	8,143,680
特定資産合計	39,372,546	31,228,866	8,143,680
(3) その他の固定資産			
什器備品	21,654,402	0	21,654,402
減価償却類累計額	△ 10,401,707	0	△ 10,401,707
電話加入権	1,512,000	1,512,000	0
その他の固定資産合計	12,764,695	1,512,000	11,252,695
固定資産合計	201,137,241	181,740,866	19,396,375
資産合計	660,241,785	492,117,405	168,124,380
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	17,453,709	0	17,453,709
未払金	267,559,176	264,647,709	2,911,467
未払法人税等	447,400	0	447,400
未払消費税等	2,681,740	2,070,948	610,792
預り金	4,396,348	4,396,348	0
仮受金	39,261,534	39,261,534	0
流動負債合計	331,799,907	310,376,539	21,423,368
2. 固定負債			
退職給付引当金	39,372,546	31,228,866	8,143,680
固定負債合計	39,372,546	31,228,866	8,143,680
負債合計	371,172,453	341,605,405	29,567,048
正味財産	289,069,332	150,512,000	138,557,332

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	7,052,932		
普通預金 山口銀行本店	289,504,278		
西中国信用金庫本店	0		
みずほ銀行下関出張所	0		
三井住友銀行下関支店	0		
郵便振替専用口座	8,500		
未収金	13,802,898		
前払金	7,931		
前払費用	0		
流動資産合計		310,376,539	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000		
基本財産引当預金			
定期預金 山口銀行本店	100,000,000		
基本財産合計	149,000,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			
普通預金 山口銀行本店	31,228,866		
特定資産合計	31,228,866		
(3) その他の固定資産			
電話加入権	1,512,000		
その他の固定資産合計	1,512,000		
固定資産合計		181,740,866	
資産合計			492,117,405
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	264,647,709		
未払消費税等	2,070,948		
預り金	4,396,348		
仮受金	39,261,534		
流動負債合計		310,376,539	
2. 固定負債			
退職給付引当金	31,228,866		
固定負債合計		31,228,866	
負債合計			341,605,405
正味財産			150,512,000

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	18,958,352		
普通預金 山口銀行本店	77,809,722		
定期預金 西中国信用金庫本店	50,000,000		
たな卸資産	1,267,875		
売掛金			
未収金	692,056		
前払費用			
流動資産合計		148,728,005	
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産			
普通預金 山口銀行本店	8,143,680		
特定資産合計	8,143,680		
(2) その他の固定資産			
什器備品	21,654,402		
減価償却累計額	△ 10,401,707		
その他の固定資産合計	11,252,695		
固定資産合計		19,396,375	
資産合計			168,124,380
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	17,453,709		
未払金	2,911,467		
未払法人税等	447,400		
未払消費税等	610,792		
仮受金	0		
流動負債合計		21,423,368	
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,143,680		
固定負債合計		8,143,680	
負債合計			29,567,048
正味財産			138,557,332

5 平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー キャッシュ・フロー計算書（間接法）

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	1,704,922	18,068,377	△ 16,363,455
2. キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	3,515,011	3,515,011	0
② 退職給付引当金の増減額	4,106,426	7,376,480	△ 3,270,054
③ 未収金等の増減額	2,389,969	9,423,984	△ 7,034,015
④ たな卸資産の増減額	962,618	△ 777,828	1,740,446
⑤ 仕入債務の増減額	△ 4,811,470	△ 12,661,625	7,850,155
⑥ 未払消費税等の増減額	△ 1,913,958	576,304	△ 2,490,262
⑦ その他の流動資産・負債の増減額	46,510,423	△ 7,748,840	54,259,263
小 計	52,463,941	17,771,863	34,692,078
3. 法人税等の支払額	△ 11,702,300	9,010,800	△ 20,713,100
事業活動によるキャッシュ・フロー	40,761,641	26,782,663	13,978,978
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入	0	0	
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
① 固定資産の増加額	△ 4,106,426	△ 7,376,480	3,270,054
② その他の固定資産等の増加額	0	0	0
投資活動支出計	△ 4,106,426	△ 7,376,480	3,270,054
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,106,426	△ 7,376,480	3,270,054
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係わる換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	36,655,215	19,406,183	17,249,032
VI 現金及び現金同等物の期首残高	406,678,569	387,272,386	19,406,183
VII 資金範囲の変更に伴う調整額	0	0	0
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	443,333,784	406,678,569	36,655,215

財務諸表に対する注記（公益事業会計）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

役員退職給付引当金・・・役員の退職給付に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(3) ファイナンス・リース取引の処理方法

リース取引の会計処理は、リース物件の所有権移転外取引であり、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（基）	49,000,000	0	0	49,000,000
基本財産引当預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	149,000,000	0	0	149,000,000
特定資産				
退職給付引当資産（特）	28,089,200	7,408,594	4,268,928	31,228,866
小 計	28,089,200	7,408,594	4,268,928	31,228,866
合 計	177,089,200	7,408,594	4,268,928	180,228,866

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券（基）	49,000,000	0	0	0
基本財産引当預金	100,000,000	0	0	0
小 計	149,000,000	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産（特）	31,228,866	0	0	0
小 計	31,228,866	0	0	0
合 計	180,228,866	0	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	1,512,000	0	1,512,000
合計	1,512,000	0	1,512,000

5. その他

(1) ファイナンス・リース取引関係

未経過リース料期末残高相当額

(単位：円)

区分	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	218,400	376,320	594,720

収支計算書に対する注記 (公益事業会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、普通預金、郵便振替専用口座、未収金、前払金、前払費用、未払金、未払消費税等、預り金、仮受金を含めている。

なお、当期首額及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期首額	当期末残高
現金	2,412,442	7,052,932
普通預金	234,885,512	289,504,278
郵便振替専用口座	9,300	8,500
未収金	13,728,220	13,802,898
前払金	322,199	7,931
前払費用	157,921	0
合計	251,515,594	310,376,539
未払金	222,625,103	264,647,709
未払消費税等	2,036,966	2,070,948
預り金	2,602,040	4,396,348
仮受金	24,251,485	39,261,534
合計	251,515,594	310,376,539
次期繰越収支差額	0	0

財務諸表に対する注記（収益事業会計）

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

什器備品・・・定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

役員退職給付引当金・・・役員退職給付に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) ファイナンス・リース取引の処理方法

リース取引の会計処理は、リース物件の所有権移転外取引であり、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産（特）	7,176,920	966,760	0	8,143,680
小 計	7,176,920	966,760	0	8,143,680
合 計	7,176,920	966,760	0	8,143,680

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産（特）	8,143,680	0	0	0
小 計	8,143,680	0	0	0
合 計	8,143,680	0	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	10,878,252	△ 5,552,440	5,325,812
什器備品	10,776,150	△ 4,849,267	5,926,883
合 計	21,654,402	△ 10,401,707	11,252,695

収支計算書に対する注記（収益事業会計）

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、普通預金、定期預金、売掛金、未収金、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、未払法人税等を含めている。

なお、当期首額及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期首額	当期末残高
現金	15,299,337	18,958,352
普通預金	154,071,978	77,809,722
定期預金	0	50,000,000
売掛金	1,098,400	0
未収金	2,058,303	692,056
前払費用	709	0
合 計	172,528,727	147,460,130
買掛金	22,579,447	17,453,709
未払金	15,187,309	2,911,467
未払消費税等	2,558,732	610,792
仮受金	199,328	0
未払法人税等	12,149,700	447,400
合 計	52,674,516	21,423,368
次期繰越収支差額	119,854,211	126,036,762

平成23年度 財団法人下関海洋科学アカデミー 決算資料 (公益事業会計)

1 未収金の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金 額
1	観覧料 (旅行クーポン)	13,025,368
2	観覧料 (職員共済)	31,050
3	観覧料 (共通チケット)	289,480
4	観覧料 (提携チケット)	455,000
5	サポーターズクラブ入会金	2,000
合	計	13,802,898

2 前払金の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金 額
1	労働保険料	7,931
合	計	7,931

3 預り金の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金 額
1	健康保険料 (3月分)	1,090,935
2	厚生年金保険料 (3月分)	1,696,143
3	源泉所得税 (3月分)	880,960
4	市県民税 (3月分)	516,300
5	観覧料共通チケット預り金	212,010
合	計	4,396,348

4 仮受金の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金 額
1	観覧料現金収納金 (3/30・3/31分)	6,628,240
2	観覧料調定金 (納付残額)	32,496,605
3	レストラン設備保守管理実費弁償	136,689
合	計	39,261,534

5 未払金の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金額
1	財団職員諸手当 (3月分)	902,491
2	社会保険料・労働保険料法人負担分等 (3月分)	2,910,336
3	臨時職員賃金 (3月分)	3,266,281
4	職員退職金	491,040
5	会議諸費用	26,770
6	パンフレット等配送料・展示生物輸送料等	710,816
7	展示関連備品等購入	249,595
8	事務用什器備品等購入	692,165
9	展示関連原材料費	159,843
10	事務用・施設管理消耗品	557,298
11	広報宣伝用消耗品	3,972,771
12	水族蓄養・展示用消耗品	2,013,632
13	ボランティア関連消耗品	90,502
14	サポーターズクラブ関連消耗品	21,320
15	展示関連資料	19,561
16	展示水族一式	448,039
17	展示生物用餌料	5,181,196
18	館内設備・展示物・事務機器修理等	11,751,547
19	封筒等印刷	46,200
20	入館券・パンフレット等印刷	5,050,080
21	軽油・ガソリン	64,047
22	有料道路利用料	74,390
23	コピー機使用料等	91,378
24	インターネットセキュリティ管理	140,000
25	フロアマット・観葉植物・トイレ消臭器	107,696
26	観客誘致幹旋手数料	3,133,778
27	クリーニング代	28,014
28	飼育生物検査料	179,355
29	調律・簡易水道水質検査料	16,150
30	メディア等宣伝費	38,339,789
31	施設管理保守・警備・清掃業務、廃棄物処理等委託	15,396,784
32	施設設備保守、展示設備保守、展示演出関連業務	53,454,735
33	定期健康診断	385,986
34	広報宣伝関連業務	43,472,594
35	水族館技術者研究会委託業務	2,963,468
36	職員研修会・講習会	299,250
37	求人広告掲出料	50,400
38	管理受託収入返還額	67,888,412
	合 計	264,647,709

6 未払消費税等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金額
1	未払消費税確定分	2,070,948
	合 計	2,070,948

1 未収金の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金額
1	レストラン営業管理費 (3月分)	250,000
2	自動販売機等販売手数料 (3月分)	237,297
3	記念写真撮影営業管理費 (3月分)	204,759
	合 計	692,056

2 買掛金の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金額
1	売店商品仕入	16,354,717
2	自動販売機等商品仕入	1,098,992
	合 計	17,453,709

3 未払金の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金額
1	財団職員諸手当 (3月分)	30,380
2	社会保険料・労働保険料法人負担分等 (3月分)	428,029
3	臨時職員賃金 (3月分)	1,153,660
4	電話通話料等	65
5	メール便郵送料	3,465
6	売店消耗品等購入	3,024
7	海響館施設使用料	764,900
8	売店清掃業務委託	57,114
9	POSレジシステム保守業務	220,430
10	求人広告掲出料	50,400
11	決算業務指導料	200,000
	合 計	2,911,467

4 未払法人税等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金額
1	法人税	256,500
2	法人県民税	33,800
3	法人市民税	87,600
4	事業税	38,400
5	地方法人特別税	31,100
	合 計	447,400

5 未払消費税等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

摘	要	金額
1	未払消費税確定分	610,792
	合 計	610,792



平成23年度

財団法人下関海洋科学アカデミー
決算監査意見書

財団法人下関海洋科学アカデミー監事

平成 24 年 5 月 12 日

公益財団法人下関海洋科学アカデミー
理事長 中尾 友昭 殿

監事 堀川 徹二 
監事 久保 貞浩 

平成 23 年度決算監査について（報告）

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の期間

平成 24 年 5 月 12 日

2. 監査の方法

決算書類の審査に当たっては、帳簿記録の試査、証拠書類の抽出による検査及び関係職員に対する質問等、一般に認められた手続きに従って、決算の計数及び帳簿の記録並びに事務の処理が適正か、また、決算書類が財団の収支状況及び財産状態を適正に表示しているかどうかについて、その内容を検討した。

3. 監査の結果

決算の書類は、財団の諸規程及び公益法人会計基準に準拠して作成されており、決算の計数は正確で、財団の収支状況及び財産状態を適正に表示しているものと認める。

4. 監査の概要

当期の決算額は、収入 1,179,564,369 円、支出 1,173,381,818 円で、差引当期収支差額は 6,182,551 円、次期繰越収支差額は 126,036,762 円となっている。

収入及び支出を前年度に比較すると、収入は 137,676,066 円、支出は 123,053,057 円とともに減少となっている。会計別にみると、公益事業会計においては収入、支出ともに増加、収益事業会計においては収入、支出ともに減少している。

公益事業会計の収入、支出の内訳をみると、収入は合計で 898,132,648 円となっており、前年度に比較すると、62,241,447 円増加している。収入の主なものは、指定管理

料 825,361,588 円、サポーターズクラブ入会金 21,472,200 円、収益事業会計からの繰入金 45,000,000 円である。

支出は合計で 898,132,648 円となっており、前年度に比較すると、62,241,447 円増加している。

支出の内訳をみると、自主事業費では、普及啓蒙活動及び自主研究等を実施し、合計で 6,294,882 円を支出しており、前年度に比較すると、2,225,065 円減少している。

受託事業費では、建物等の維持管理、観覧料の収納業務、水族の飼育保管及び展示、館内イベントの実施、企画展の開催等に、合計で 626,150,762 円を支出しており、この主なものは、設備管理・清掃・警備業務等の委託費 251,399,359 円、光熱水料費 208,352,028 円、広報宣伝費 42,582,406 円、飼料購入費 26,230,249 円、消耗品費 21,018,263 円、観客誘致等手数料 18,524,012 円、修繕費 18,174,902 円である。受託事業費での支出額は合計で 626,150,762 円となり、前年度に比較すると、58,415,904 円増加している。

管理費は合計で 258,278,410 円を支出しており、前年度に比較すると、5,268,004 円増加している。

収益事業会計の収入、支出の内訳をみると、収入は合計で 281,431,721 円となっており、前年度に比較すると、199,917,513 円減少している。収入の主なものは、事業収入 281,394,923 円である。

支出はミュージアムショップの運営、自動販売機の設置・運営等の実施、公益事業会計への繰出金等、合計で 275,249,170 円であり、前年度に比較すると、185,294,504 円の減少となっている。

支出の主なものは、館内販売商品仕入費 166,301,834 円、施設使用料等 11,331,296 円である。

正味財産増減計算書の内訳をみると、当期一般正味財産は、収益事業会計で 1,704,922 円の増加となっており、正味財産期末残高は、公益事業会計で 150,512,000 円、収益事業会計で 138,557,332 円となっており、合計で 289,069,332 円である。

以上が決算の概要であるが、今後とも館の発展のため、広報活動や展示水族の充実を図るとともに財団の健全経営に努められたい。

なお、事務処理については概ね良好になされている。